



高大連携室だより



東京都立大学
アドミッション・センター
高大連携室



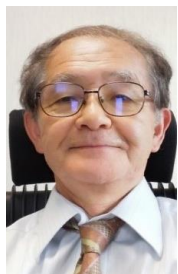
2023年度はコロナ収束とともに、高校生の来訪や高校からの見学がコロナ禍前以上に増え、スタッフ全員が全力で対応した一年でした。高大連携室では、2010年の設立から要を担っていた特任教授2名が引退します。本号では、退職する教員と着任した教員、院生スタッフ代表の寄稿をご紹介します。高校の先生方、学内教職員の方々には、高大連携室の歴史や、学生を高校と大学が連携して育成することの重要性をご理解いただくとともに、活動へのご協力をいただけますと幸いです。



高大連携室室長 河西奈保子(大学教育センター教授)

高大連携室での14年間を振り返って

特任教授 渡邊恒雄



渡邊恒雄
特任教授

2010年4月に南大沢キャンパス講堂フロアをパーティションで区切った、約20m²の天然冷暖房の「高大連携室/大学での学び発見室」で活動を開始しました。スタッフは室長の松浦克美教授(生命科学)、副室長渡辺を含む11名(教員4事務1院生6)の体制です。活動は、個別来訪者対応・高校との連携事業、8月研究協議会、夏季大学説明会、11月大学祭事業、3月公開シンポジウム、学生の母校訪問活動支援などです。これらの事業は、受身な学習傾向の本学入学者の増加対策として、高校と連携して生徒に主体的な学び習慣作りを働きかけること、活動に関わる学生の成長を期待して企画されました。

2016年の1号館106室への移動、2018年の河西奈保子新室長の着任、2020年からの新型コロナウイルス感染禍の社会変容に対応したデジタル技術の活用、HPによる高大連携事業の紹介、2022年度から必須化された探究学習の高校支援活動などにより、来訪の高校・高校生も飛躍的に増えスタッフも総勢30名近くになりました。

高大連携室の活動を振り返りますと、変化する社会に対応して課題を発見しその対応策を決めて進む、“探究的高大連携活動”は松浦室長から河西室長に着実に引き継がれて発展しているとの思いを強くします。その課題解決のために院生スタッフが創意工夫し

た仕事をされ、スタッフ会議で成果を共有していることが活動力の源泉だと思えます。また本学の教職員の皆様のご理解ご協力が支えになっています。

これからも、スタッフの探究的高大連携活動が継続されることを期待します。この14年間お世話になりました皆様に厚く御礼申し上げます。

退職にあたり高大連携室での年月を振り返って

特任教授 嶋田敬三



嶋田敬三
特任教授

常勤職が定年となった2010年に、たまたま同僚であった室長の松浦教授に声を掛けられ新規発足の「高大連携室/大学での学び発見室」の室員となった。当初は本室の存在を知ってもらうという活動から始まったが、夏休みの「キャンパス散歩」などで個別来訪者も増えてゆき、高校単位での見学・行事も年々増加し、今年に至っては、コロナ反動かもしれないが驚くほどの盛況であった。高大連携室の存在価値が発揮されているとも言えるが、昨年度から本格的にスタートした探究学習の支援も加わってスタッフの仕事量はオーバー気味で、発足当初に比べてスタッフ間の会話・情報交換の機会が減っていることにはやや複雑な思いがある。

本室の活動の多くの部分を大学院生のTA(ティーチング・アシスタント)が担っていることは、第5号に書かせていただいたとおりであるが、14年間総勢80名を超す主体性・行動力の高い大学院生スタッフとともに活動できたことは有難いことであった。

また、本室が順調に機能しているのは事務スタッフの人材に恵まれたことにもよる。今後も学内外のご支援の下にこのような優れたスタッフによって高大連携室の存在価値がより高いものになっていくことを祈っている。



高大連携室
教員・院生スタッフ・事務職員

遅ればせながら... 着任のご挨拶

特任教授 玉川英則



玉川英則
特任教授

私は去る2022年3月、都立大学都市環境学部都市政策科学科で定年を迎えました。大学名や組織編成の紆余曲折こそあれ、学際的都市研究では60年という歴史を持つこの大学で、その半分近い28年間奉職させて頂いたことは大いなる誇りとするところです。その後は「生涯一研究者」を勝手に自任しておりましたが、思わぬご縁でお声かけを頂き、本年7月より高大連携室に勤務することとなりました。

現在、「職場の同僚」の院生スタッフはZ世代、大学見学講座でお相手するのはさらに若い高校生となると、否が応でもジェネレーションを意識せざるを得ません。「団塊の世代」と「新人類」との間に挟まれた自称「Bメロ世代」（中継ぎ世代、シラケ世代...）としては、右往左往するばかりです。

でもそんな中、院生・教員・事務職員がフラットに議論し事を進められるのが、高大連携室の最大の特長かも。この良さをさらに進展させるべく尽力したいと思う今日この頃です。

院生スタッフ代表として

舟橋昌哉(システムデザイン研究科)

高大連携室の大学院生スタッフ代表を務めておりました舟橋昌哉です。2023年度は大学見学講座に加え、キャンパスグループ見学の受け入れ増加、オープンキャンパス個別相談会など非常に多くのイベントを開催し、高大連携室としての活動の幅が広がった1年になりました。私自身、システムデザイン研究科所属という事もあり、日野キャンパス個別相談会を5年ぶりに実施できたことはいい思い出です。

代表として感じたこと。それは院生スタッフの個性とモチベーションの高さ。普段の会話から常々感じています(笑)。それがイベントに活かされている。改めて実感した1年でした。当たり前のようにイベントを開催し、運営している。すごいなと思います。代表としては特に仕事をすることなく終わった気がします。強いて言えば飲み会開催ですかね。そのような優秀なスタッフに支えられ何とか1年間代表をやり遂げることができ、貴重な経験ができました。私個人としては高校生に選択肢を増やしてほしい、そのような想いで取り組んできました。少しでも進路決定の手助けとなっていれば幸いです。

最後になりますが、高大連携室の活動を支えていただきました皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。今後とも高大連携室の活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



舟橋昌哉
2022-23院生スタッフ代表

オープンユニバーシティ 2024年度春期講座

6月1・8日(土) 16:00~17:30

(3月6日(水)より申込受付) 高校生参加無料

高校生のための留学準備講座

「高校生のうちからできる留学準備」

講師:

岡村 郁子	東京都立大学	国際センター	教授
嶋内 佐絵	東京都立大学	国際センター	准教授
河西 奈保子	東京都立大学	大学教育センター	教授、 高大連携室長
浅利 みなと	東京都立大学	大学教育センター	特任助教

詳細は東京都立大学オープンユニバーシティWebサイトを
ご覧ください <https://www.ou.tmu.ac.jp/web/>

高校生の方へ~高大連携室のイベント

【キャンパスツアー】

高大連携室の大学院生スタッフが引率する南大沢キャンパスの見学ツアーです

【キャンパス自由見学】

南大沢キャンパスを自由に見学して頂けます(建物外)個別相談もお受けしています(混雑状況によりお受けできないこともあります)

【オンライン個別相談】

高大連携室の大学院生スタッフがZoomを利用して質問や相談にお答えします

いずれも事前予約制です
下記ホームページよりアクセスしてください

東京都立大学アドミッション・センター高大連携室
東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学南大沢キャンパス 1号館106室

開室：平日10時~17時 土曜13時~17時(祝日/入試日を除く)

最新情報はXをご覧ください

● TEL:042-677-2015 ● Mail:koudairg@tmu.ac.jp

HP

ホームページ



X



Instagram



TMU.KOUDAIRENKEI